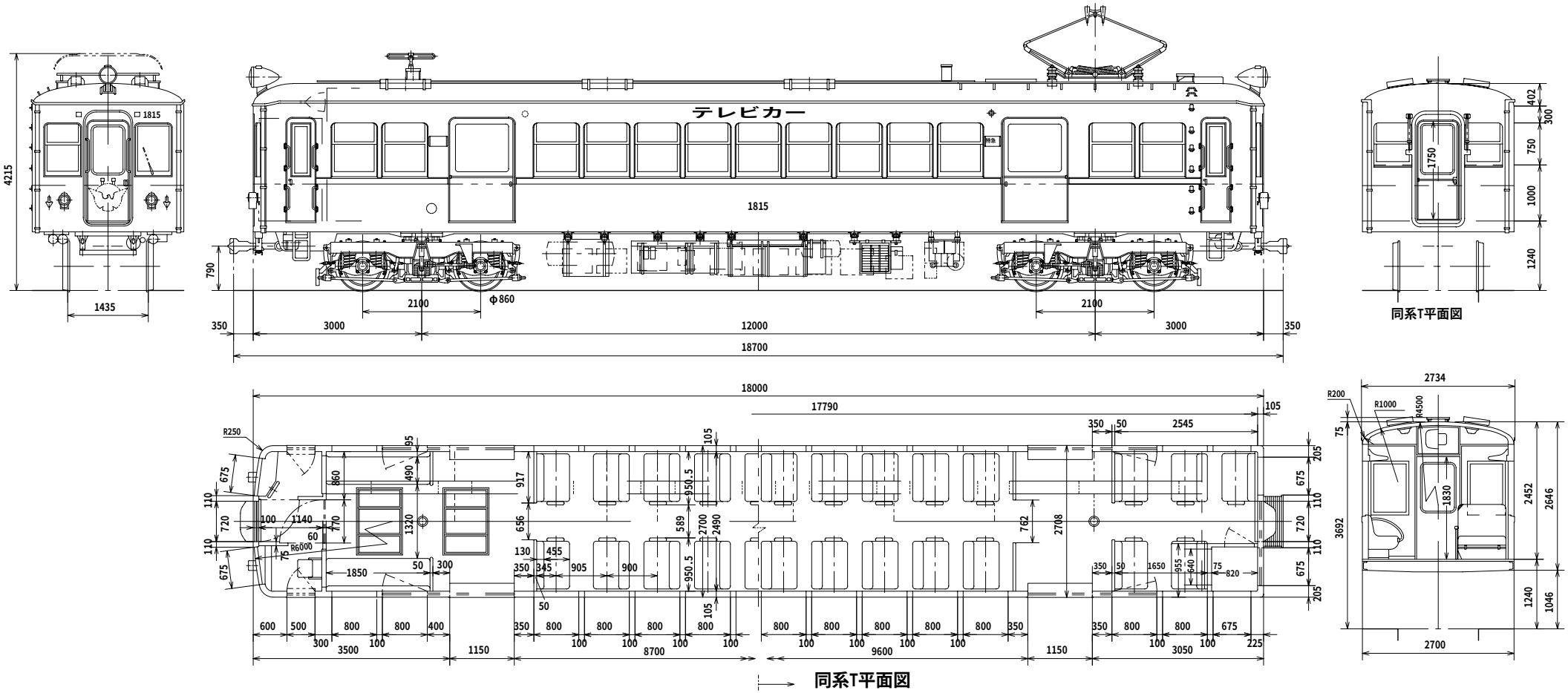
京阪電鉄　1815形　形式図

1956年に特急用として新造された車輌のひとつ
当時京阪はテレビ付きの特急電車で人気を呼んでおり、この1815はテレビカーと銘打って、
一方の屋根上にアンテナを立てていた
図はKS15台車を付けた製造当初の1815で、同一車体の1816は別形式の台車を使用していた
なお、平面図右半分とと端面は同系の付随車1880形の一部(1884,5)を示したものである
この系列の車輌は変化がはげしく、1815は1900形の中に編入、テレビは撤去、そして独立
車輪のテストカーとなった